

# 船舶事故調査報告書

令和7年7月23日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	令和6年11月23日 10時20分ごろ
発生場所	兵庫県姫路市男鹿島南方沖 男鹿島灯台から真方位210° 2,000m付近 (概位 北緯34°38.6′ 東経134°34.3′)
事故の概要	プレジャーボート <sup>かのう</sup> 嘉納丸は、北進中、のり養殖施設に乗り揚げた。
事故調査の経過	令和6年12月17日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート 嘉納丸、5トン未満（長さ7.05m）
船舶番号、船舶所有者等	291-38887兵庫、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、二級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	本船 プロペラシャフト、プロペラ翼に曲損等 のり養殖施設 のり枠固定用のアンカーロープに切損
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北西、風力 4、視界 良好 海象：波高 約1.0m、潮汐 上げ潮の末期
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、男鹿島南方沖で漂泊して釣りを行っていた。</p> <p>船長は、北西の風が強くなってきたので、風の影響の少ない島陰の釣り場に移動することとし、移動時間を短縮しようと考え、男鹿島南方沖ののり養殖区域（以下「本件区域」という。）内に敷設されたのり網とのり網との間の水路（以下「本件水路」という。）を北上することとした。</p> <p>船長は、本件水路の中央部を航行すれば本件区域内を安全に通過できると思い、本件区域に設置されたブイや灯浮標を見ながら約24km/hの対地速力で手動操舵により本船を航行させた。</p> <p>本船は、北西の風を受けて右舷方に圧流されていたので、船長が時折左舵を取りながら北進中、突然速力が下がり停止した。</p> <p>船長は、プロペラに何かが絡まったと思い、主機を中立運転として確認したところ、本船のプロペラに右舷方ののり枠固定用アンカーロープ（以下単に「ロープ」という。）が絡まっているのを認めた。</p> <p>船長は、ロープの絡まりを解くことができず航行不能と判断し、所属するマリーナに連絡した後、118番通報して救助を要請した。</p> <p>本船は、来援した巡視艇により<sup>のり</sup>養殖施設から引き出され、マ</p>

	<p>リーナにえい航された。</p> <p>海上保安部のホームページには、海苔網乗揚げ防止<sup>*1</sup>として、次のとおり記載されている。</p> <p>毎年9月から11月は海苔網の設置時期であり、例年、海苔網への進入に伴う事故が多発しています。</p> <p>養殖施設のブイとブイを結ぶように水中にロープが張られているため、航行の際は養殖施設を避けて航行してください。</p> <p>船長は、本件区域周辺での釣りの経験が豊富で、本船より大きなのり養殖業を行う船舶が本件水路を航行しているのを見たことがあったので、本件区域を迂回せずに本件水路を航行した。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.3m、船尾約1.2mであった。</p> <p>(付図1 事故発生経過概略図 参照)</p>
分析	<p>本船は、船長が移動時間を短縮しようと考え、本件水路を航行したことから、北西の風を受けて右舷方に圧流されながら北進中、のり養殖施設に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、本船より大きな船舶が本件水路を航行しているのを何度か見たことがあったことから、本件区域内の本件水路の中央部を航行すれば安全に通過できると思ったものと考えられる。</p> <p>船長は、本件区域に設置されたブイや灯浮標を見ながら時折左舵を取っていたが、右舷方への圧流に対する操船が適切でなかったことから、本船が右舷方ののり養殖施設に接近したものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、北西風の中、本件水路を航行したため、風によって圧流され、のり養殖施設に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>本船が本件水路を航行したことについては、船長が、移動時間を短縮するには本件区域内の本件水路の中央を航行すれば安全に通過できると思ったことによるものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小型船舶の船長は、のり養殖区域の近くにおいては、気象海象を考慮しつつ、のり養殖区域から安全な距離をとること。</li> </ul>

<sup>\*1</sup> 海上保安部のホームページ 海苔網乗揚げ防止  
<https://www.kaiho.mlit.go.jp/05kanku/himeji/pulldown/noriami/gyobazu.html>

付図1 事故発生経過概略図

